



小郡特別支援学校との交流

立石小学校は、毎年、2年生が小郡特別支援学校の1・2年生と交流しています。交流会は、年に2回行っており、6月の交流会では、立石小の児童が小郡特別支援学校に行き、今回は立石小に小郡



ダンスの披露



魚釣りゲーム

特別支援学校の児童に来てもらいました。交流会では、2年生児童のアイデアで、運動会のダンスを披露し、2、3人のグループで魚釣りゲームをしました。

会の終わりには福田りのさんが代表で、『私は小郡特別支援学校のみんなのダンスを見て「すごいな」と思いました。魚釣りゲームでは、魚をたくさん釣ってすごいなと思いました。楽しかったです。また遊びましょう。』と全員の前で感想を言ってくれました。

5年生稲刈り体験

10月30日、5年生は、6月に植えた稲の稲刈り体験をしました。ほとんどの児童は稲刈りも初めてで、しかも鎌を使っての稲刈りとあって、みんな貴重な体験をすることができました。この体験は、吹上のメ野忠雄様が田んぼや苗の準備からすべてをやっていただいているからできるもので、本当にありがたいと思っています。



給食のニンジン

立石小の給食には、ほとんど毎日といっていいほどニンジンが入っています。子どもたちは、器の中から、ハート、王冠、ウサギ、キャンディー、イルカ、ハリネズミなどの形のニンジンを探して、喜んで食べています。形は、30種類以上あるそうで、日によって違う形のニンジンが入っています。200人近くの給食を準備する作業の中で、せっせと型抜きをさせていただいている調理員さんの工夫をありがたいと思っています。



2年生まちたんけん（1）

2年生の生活科の学習には、「まちたんけん」があります。先日、2年生の児童は、干潟工業団地にある株式会社マセックさんに見学に行きました。マセックさんは、自動車のチューブ部品や樹脂製部品、防振部品、エンジン部品の製造や加工などを手掛けている会社です。

玄関で、たくさんの社員さんに出迎えをしていただいた後、工場の中を案内してもらいました。子どもたちは、作業ロボットを見せてもらったり、高圧プレス機を触らせてもらったりと、高学年の工場見学のような体験をさせてもらい、帰りに一人一人にお土産までいただき大喜びでした。



玄関での歓迎



作業の説明



社員さんと記念写真

図書の寄贈

2年生が「まちたんけん」で見学させていただいたマセックさんから立石小学校に、昨年同様、書籍の寄贈をしていただきました。先日、代表の鳥居様に学校にお越しいただき、2年生の児童が参加して贈呈式をしていただきました。今回も、子どもたちが好みそうな本を72冊も寄贈していただき、早速、図書館に置かせていただいています（図書司書の先生の情報では結構な金額になるそうです）。いただいた本は、子どもたちの興味があるものばかりで、既に貸出の順番待ち（予約）状態になっています。



おごおりっこメッセージ

11月2日、小郡市文化会館大ホールで行われたおごおりっこメッセージには、6年生の めいさんが立石小代表として参加し、発表してくれました。めいさんは、「『今』を変えて未来へつなごう」というタイトルで、「障がい」という言い方のように、誰かが傷つくような言葉遣いや呼び方をやめて、みんなが安心できる未来をつくりたいという内容の主張をしてくれ、来場者からは大きな拍手をいただいていた。



《今後の予定》

12月

9日(月) 赤い羽根募金(～13日)
13日(金) 規範研修会、学級懇談会、
17日(火) 5年生社会科見学

23日(月) 大掃除 5時間授業
24日(火) 5時間授業 児童会・生徒会研修会
25日(水) 冬季休業(～1/7)